

間違い探し レクのすすめ方

秋のくらし 間違い探し(むずかしい版)(全3問・15個のちがい) 職員さん用の1枚です。利用者さんにはお渡ししません。

■ おすすめ方(1問あたり およそ13分)

1. ① 配る(2分)
一人に1枚ずつお配りします。鉛筆は、太めのものが持ちやすい方が多いです。
2. ② 説明する(1分)
「左と右の絵に、ちがうところが5つあります。見つけたら、○をつけてください」とお伝えします。
3. ③ さがす(5分)
まわりの方と話しながらで大丈夫です。「どこどこ？」と聞き合うのが、いちばん盛り上がります。
4. ④ ヒント(2分)
手が止まったら、「上のほう」「右のあたり」と、場所だけをお伝えします。答えはまだ言いません。
5. ⑤ 答え合わせ(3分)
一つずつ、ゆっくり出します。見つからなかった方にも「言われてみれば」と思っていただけの間をとります。

■ 声かけの例

- ・「これ、どっちが好きですか」(絵の中の物について、思い出を聞く)
- ・「うちにもありましたか」(道具の話は、昔の暮らしの話につながりやすい)
- ・「見つかった方、教えてください」(答えではなく、場所を言う)

■ 気をつけること

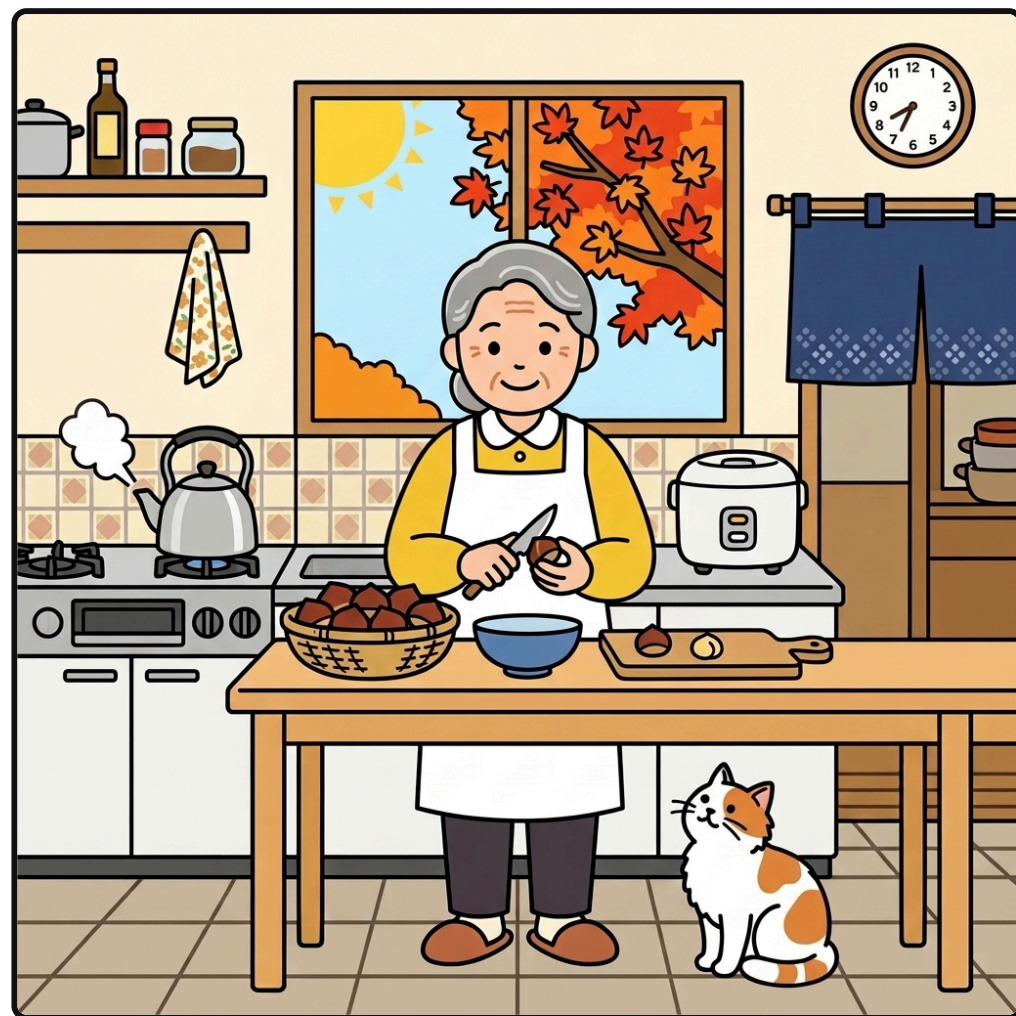
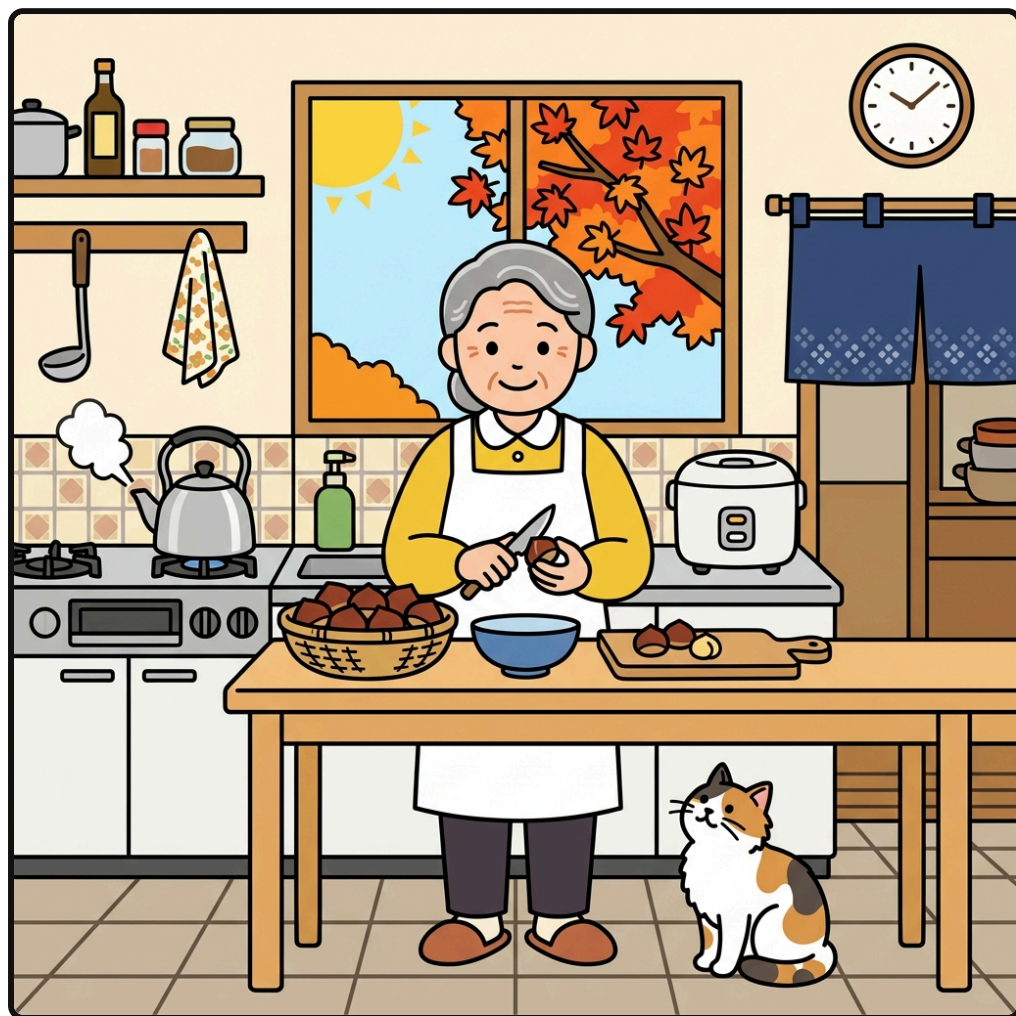
- ・見つからなくても、困った顔をされたら、こちらから場所をお伝えします。「わからない」と言わせない。
- ・早く見つけた方に、ほかの方の答えを言わないようお願いしておく、全員が楽しめます。
- ・目が見えにくい方には、絵を手元で見えていただくか、職員と一緒に指でなぞります。

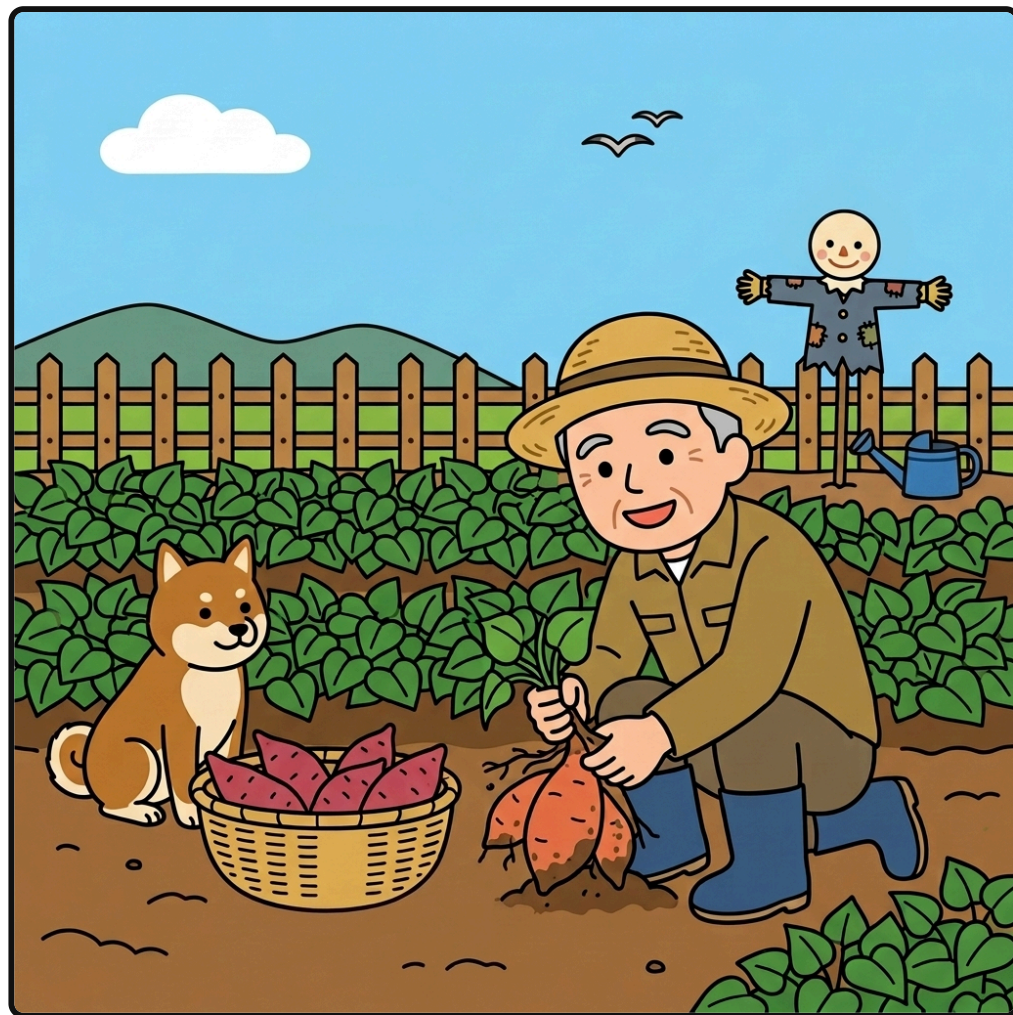
■ 記録の文例(そのまま使えます)

- ・ 間違い探しのレクに参加された。三つのうち二つを自分で見つけられ、となりの方に場所を教えておられた。
- ・ 間違い探しのレクに参加。見つけにくい様子があったため、職員が「このあたりですよ」と場所をお伝えすると、自分で見つけて笑顔が見られた。
- ・ 間違い探しのレクを、席からご覧になっていた。答え合わせのときに「あっ」と声が出ており、紙を目で追っておられた。

※ 文例は、できた・できないの評価ではなく、見えたことだけを書いています。お名前や、ほかの方のことは書かないでください。







第1問 縁側のお茶



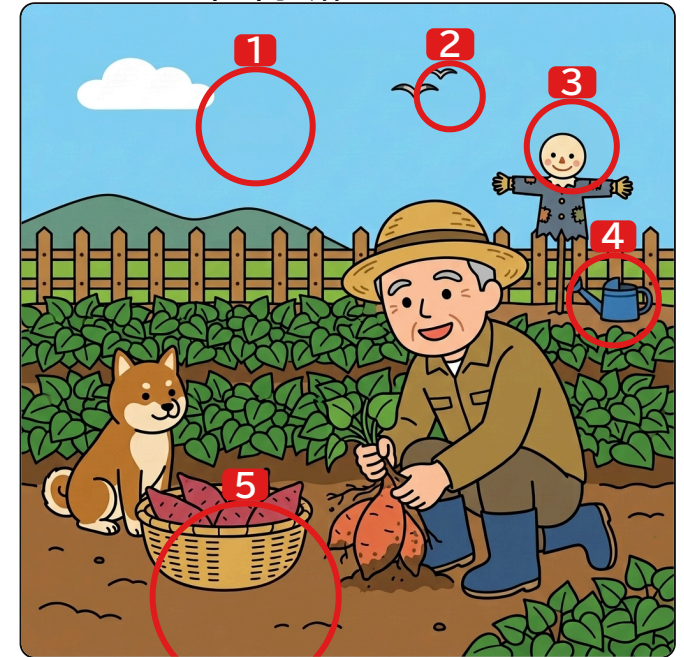
ちがい:おばあさんの髪のおだんご／柿の実／庭の飛び石／お盆の湯のみ／猫のぶち
縁側は、家の中と外のあいだにある場所です。腰をおろして、庭をながめながらお茶を飲めます。

第2問 台所のしたく



ちがい:つるしたおたま／緑の洗剤ボトル／まな板の栗／時計の針／猫の黒いぶち
栗は、お湯にしばらくつけておくと、皮がやわらかくなってむきやすくなります。

第3問 畑のいもほり



ちがい:空の鳥／空の小さい雲／かかしの帽子／じょうろの色／地面のくわ
さつまいもは、ほってすぐより、しばらく置いてからのほうが甘くなると言われます。